

### 県政の動き

6月11日(火)～8月10日(土)

6月22日(土)～6月23日(日)

★「ザ・漁師塾」～漁師になろう!フェア～  
6月22日(土)～6月23日(日)

鹿児島県うまいものフェア

6月24日(月)

クルーズ船「コスタ・アトランチカ」日本初寄港

6月30日(日)

★本県出身一流料理人への薩摩大使委嘱  
および薩摩大使ミーティング

7月2日(火)

★県内企業と高校等就職指導担当者との  
意見交換会

7月4日(木)

県エイズ対策連絡協議会

7月5日(金)～8月12日(月)

自動車税納税お知らせセンター開設

7月7日(水)

県民健康プラザ健康増進センター  
開設12周年記念イベント

7月8日(木)

★平成25年度夏の臨床研修病院合同説明会

7月10日(水)・7月12日(金)

★上海・ソウルへ訪問団派遣

～上海線の路線維持・ソウル線の増便を要請～

7月13日(土)

★薬物乱用防止「6・26ヤング街頭キャンペーン」

7月17日(水)～8月4日(日)

第34回霧島国際音楽祭

7月16日(火)

夏の交通事故防止運動

7月16日(火)

★知事表彰「スポーツ部門」特別賞授与

7月18日(木)

企業等農業参入研修会・相談会

7月20日(土)～7月21日(日)

★桜島大正噴火100周年事業「ふれあい火山フェア」

8月8日(木)

かごしま子ども環境大臣任命式

★は写真入りで紹介

6月22日(土)～6月23日(日)

## 「ザ・漁師塾 ～漁師になろう!フェア～」



漁業就業に関心を持つ方々を対象に、漁業への理解と就業を促し、漁業後継者の確保・育成を図ることを目的とした「ザ・漁師塾」を県漁業協同組合連合会と連携して開催し、県内外から24人の漁業就業を希望する方が参加した。

6月22日(土)に漁業への理解を深めるための座学研修や求人経営体などの就業相談を行う就業フェアを実施し、23日(日)に南さつま市において定置網漁業と魚類養殖業の漁業体験を実施した。



6月30日(日)

## 本県出身一流料理人への薩摩大使委嘱 および薩摩大使ミーティング



本県の食のイメージアップを目的に今年2月に開催した「匠による「鹿児島島の食」フェア」でご協力いただいた本県出身の一流料理人の中村勝宏氏(フレンチ)、木浦信敏氏(和食)、濱崎龍一氏(イタリアン)に対し、6月30日(日)、東京駅内の東京ステーションホテルにおいて、知事が薩摩大使の委嘱状を交付した。

併せて開催した「薩摩大使ミーティング」では、「鹿児島の食」の情報発信をテーマに意見交換が行われ、各大使からは、「生産者や地元料理人との交流をしたい」、「ブランド力をさらに向上させる必要がある」などの提案がなされた。



## 県内企業と高校等就職指導担当者との意見交換会



企業への理解を深め、高校生の県内就職促進を図ることを目的に県内企業と高校などの就職指導担当者が一堂に会する情報交換会が、鹿児島市で開催された。

79校から参加した279人の先生たちは、72社の企業ブースを回り、選考の方法や求める人材などを熱心に質問し、生徒の資格取得に力を入れているなどと学校をPRしていた。

参加した企業の担当者は「先生方の熱意が伝わり、あらためて採用意欲が高まった」、「求人票では伝わらない情報を話すことができてよかった」などと話していた。



## 平成25年度夏の臨床研修病院合同説明会



県内における臨床研修医の確保を図るため、県初期臨床研修連絡協議会では、鹿児島大学桜ヶ丘キャンパスにおいて、医学生を対象とした「夏の臨床研修病院合同説明会」を開催した。

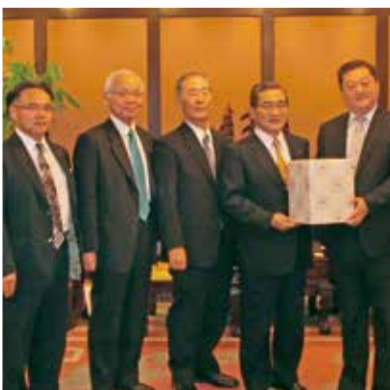
当日は、108人の医学生が参加し、県内11の基幹型臨床研修病院の指導医や研修生が医学生の相談に応じた。

会場は、説明に聴き入ったり、熱心に質問したりする医学生や、それに応える研修医の熱気に包まれていた。

また、説明会の後に行われた情報交換会では、医学生と研修医などの関係者が盛んに語り合う姿が見られた。



## 上海・ソウルへ訪問団派遣 ～上海線の路線維持・ソウル線の増便を要請～



7月10日(水) 中国東方航空(上海)



7月12日(金) 大韓航空(ソウル)

伊藤知事や県議会議長、経済界のトップなどによる訪問団が中国東方航空(上海)と大韓航空(ソウル)を訪問し、鹿児島ー上海線の路線の維持、鹿児島ーソウル線の増便の要請を行った。

中国東方航空からは、本県の路線維持の取り組みに対する感謝の意が述べられるとともに、路線の維持や発展に向けた取り組みを推進していきたい旨の表明があった。

上海線とソウル線は、鹿児島と世界を結ぶ重要な交通基盤の一つであることから、県では、引き続き航空会社や関係団体等と連携して、双方方向からの利用促進に取り組むこととしている。



## 薬物乱用防止「6・26ヤング街頭キャンペーン」



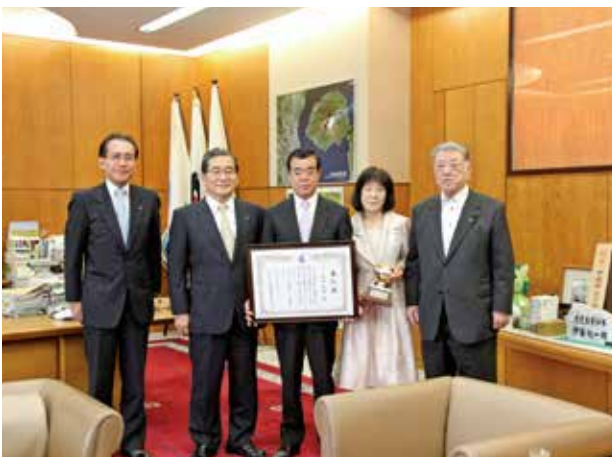
6月26日の「国際麻薬乱用撲滅デー」に合わせて鹿児島市の天文館アーケードにおいて、「ダメ。ゼッタイ。」普及運動の一環として、薬物乱用防止「6・26ヤング街頭キャンペーン」を開催した。

当日は、小中学生や高校生、関係機関のメンバーなど約200人が参加し、通行人にリーフレットなどを配り、覚せい剤、大麻、違法ドラッグなどの薬物乱用防止を呼びかけ、併せて国連支援募金活動を実施した。

「ダメ。ゼッタイ。」普及運動は、6月20日から7月19日の間、県民一人一人の薬物乱用問題に関する認識を高めるために実施するもので、本キャンペーンは各保健所地区でも開催された。



## 知事表彰「スポーツ部門」特別賞授与



平成23年の11月場所から大相撲の立行司、第36代木村庄之助として活躍し、平成25年5月で定年となった山崎敏廣氏に対して、県庁知事室において、伊藤知事から県のスポーツ振興に貢献した人に贈られる知事表彰「スポーツ部門」特別賞が授与された。

伊藤知事と懇談した山崎さんは、「素晴らしい賞を頂き、ありがたい気持ちでいっぱい。感謝感激それしかない。賞の重みをかみしめながら、50年の行司人生が少しでも若い人たちの手本となるよう、伝えていきたい」と喜びを語り、伊藤知事は「長い間、ご苦労さまでした」とねぎらった。



## 桜島大正噴火100周年事業「ふれあい火山フェア」



平成26年1月12日で桜島の大正噴火から100年を迎えることから、防災啓発・防災教育の一環として、「楽しみながら、桜島や火山防災について学ぼう」をテーマに、かごしま県民交流センターで「ふれあい火山フェア」を開催した。

「桜島・火山防災学習パネル展」や「世界の火山紹介コーナー」のほか、体験型イベントとして「キッチン火山教室」や「灰で描く絵はがき体験」などを実施した。

2日間で約2500人の来訪者が桜島や火山防災について学んだ。

また、世界43カ国から集まった火山学者向けに甲冑着付け・浴衣着付けなど鹿児島島の文化体験コーナーも開催した。

